

標十五句

松岡隆子選

また一つ老いて祭の雨を聞く
いかづちがいかづちを呼ぶ修司の忌
立山の雪溪細る棚ぐもり
りんりんと泰山木は天上花
それぞれへ出掛けてゆきぬ凌霄花
師の句碑の戀めくあたり潮焼けて
どの道を帰るも坂や濃紫陽花
昼顔や知らず知らずに崖つぶち
忙中や鳩のあとさき行く薄暑
灯の運河灯の橋夏の半ばかな
行くあてのなくて海月の裏返る
近く見て遥かなる花山法師
ざつと見て好きな位置より花菖蒲
青蘆の葉先にふるる鳥の声
再会や遠くより取るサングラス

相馬晃一
川上昌子
松原ふみ子
鈴木綾
別府優
室井千鶴子
佐藤郭子
広渡詩乃
染谷晴子
唐木和世
東條恭子
中島紀子
長束フミ子
北村敦子
青木恭子